

特別号

HOT・ホッと・くまもと

HOT-HOT-KUMAMOTO

幸山政史通信

vol.13

2006.AutumnSpecial



幸山政史は市長として、次の二つを決断基準とし実行してきました。

① 67万市民にとって
公平公正であるか。② 次世代の子どもたちの
ためになるか。

これまで4年間の取り組みをご報告します。

最悪のシナリオにストップ!

財政再建に確かなる道筋。「中核市最低」から「ほぼ平均」まで回復!

市民の借金が
減った!!

国からの財源

146.3億円
のマイナス
(平成16年～18年)

その状況の中で

公債費比率(いわゆる借金比率)



財政調整基金残金(いわゆる貯金)



市民に身近で健全な市役所づくりに着手!

民間にできることは民間へ! 進む民営化・統廃合

- ◎ 家庭ごみ収集 全体の1割で民間委託
- ◎ 学校給食 22カ所で民間委託 (モデル事業として)
- ◎ 指定管理者制度 平成17年/8施設
平成18年/338施設

団体の統廃合



熊本再生で市民生活を豊かに!

子どもたちのために独自政策を推進!

待機児童の解消のため、21年ぶりに認可保育所を開設。少人数学級の実現を目指し、独自で3年生までの35人学級を実施。

熊本の宝である地下水を守る!

熊本の財産である地下水を守り育むため、全国に先駆けて「白川中流域における水田による地下水かん養事業」や「節水社会実験」を実施。

新しいくまもとが動き出した!

政令指定都市に向け着実に前進!

近隣14市町村と「熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会」を発足。基本構想にて、政令指定都市を中心とした九州中央の拠点づくりを発表。来年2月に基本計画をまとめる。



これから、さらなる挑戦へ!

私の
基本的な
考え方

「何よりも“人”が基本」
「日本一暮らしやすく住みやすいまちづくり」
「九州のと真ん中から“熊本力”を発信」

行財政改革のさらなる推進 公債費比率を17%前半まで改善

財政改革への取り組みをさらに強化し、公債費比率（いわゆる借入金比率）を、平成20年度までには17%前半に改善します。また、平成14年度時点で6,433人いた職員数を、平成22年には5,956人まで削減します。

活力ある組織づくり 係長昇任試験制度の導入

平成17年度から実施している課長級昇任制度の定着を図るとともに、次の任期中に係長昇任試験制度の導入を図ることで、若手の登用、実力主義の人事組織づくりを目指します。

まちの即戦力づくり 起業化支援及び産学官連携促進

ビジネス支援機能を持った情報交流施設の開設により、起業促進の充実を図り、大学との連携を強化し、まちづくりの即戦力としての人材育成を行います。あらゆる分野で女性の社会参画をすすめる、世界女性スポーツ会議の成果として、男女共同参画推進条例を設定します。

熊本の宝を引き継いでいく 地下水のかん養と節水対策の推進

地下水を守り次代へ引き継ぐため、現行の「地下水保全条例」を見直し、白川中流域での水田かん水や造林をさらに進め、地下水かん養の強化を行なうと同時に、10%削減を目標に節水対策に取り組めます。

くまもとブランドの確立 農水産物・水を全国に発信

水については、熊本オフィスウォーター「熊本水物語」を製造し、農水産物をブランド化させ、全国に販売ルートを確認していきます。

熊本城を核とした観光の振興 熊本城の利活用の促進

熊本城の本丸御殿や奉公女などの利活用を推進し入場者を増やします。熊本城周辺「桜の馬場地区」には観光センターを開設。また大分～熊本～長崎、阿蘇～熊本～天草といった九州横断観光ルート開発とともに、熊本ならではの「おもてなし」で観光振興を推進します。

行政をもっと身近なところに 市長による直接対話を拡大

市長による直接対話のさらなる拡充に向けて、校区自治協議会ごとの話し合いの場を新たに設けます。また、市の各部署による重要施策・事業に関する地域説明会を、市内5ブロックで同時開催します。

次代を担う人材育成 少人数学級の推進

ゆとりある教育環境を実現するため、少人数学級を推進します。小学校では4年生まで35人学級を、5・6年生では少人数指導を行います。中学校では1年生の35人学級を、2・3年生では少人数指導を実現します。

子育てしやすいまち 乳幼児医療費助成の対象年齢を引き上げ

子育てしやすいまちづくりとして保護者の経済的負担を軽減するため、現在医療通院3歳児まで、医療入院就学前まで、由料入・通院4歳児まで対象としている助成を、就学前までに引き上げます。

移動が便利なまち 公共交通網の再編

現在のバス網を抜本的に見直し、一路線という線単位ではなく、地域全体を見た面での課題による本格的なバス網再編を行います。また、共同運行体制を確立します。

魅力ある熊本駅 利便性の高い交通結節網を整備

熊本駅は、日本一乗り換えの便利な駅を目指し、市電、バス、タクシーなどの乗降について分かりやすく利便性の高い交通結節点としての整備を進め、東口の玄関口には情報センターや図書機能、多目的ホールを備えた情報交流施設を導入します。

未来につなぐ熊本 政令指定都市の実現

現在、近隣14市町村と研究会を設置しており、その中で政令指定都市が必要であるという認識は一致しています。平成22年3月までに、合併・政令指定都市を実現させ、さらに道制庁を見据えた上での州都を目指します。

幸山政史後援会事務所 〒860-0085 熊本市高平3-43-11 太平興産ビル2階

電話(代表) **096-346-1801** FAX 096-346-1809

ホームページ: <http://www.kohyama-office.com/> Eメール: jimusho@kohyama-office.com

後援会へ登録をお願いします 幸山政史を支える後援会員を募集しております。会費は必要ありません。ぜひご登録下さい!

フリガナ	お名前	ご住所	お電話
		〒 熊本市	

◎ご記入の後は、お手数ですがファックスにてお送りください。

*ご記入いただきました、お名前・ご住所・電話番号等に関しては、幸山政史事務所からの通信、連絡業務に限り、使用させていただきます。個人情報等の管理・取扱いには十分に気をつけてまいります。